とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	・性別、年齢、障害、国籍、出身を問わず採用活動を行っている ・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップ が積極的に関与している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			○	基本	・フレックスタイム制度を導入し、長時間労働にならない働き方を推進している ・リモートワーク環境を整備し、子育て中の社員も無理なく働き続けることができている ・労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有している ・月毎に社員の労働時間を部門長が確認し、必要に応じ対応を指示している 【予定】既存のドローン測量技術を活かし、今後ＩＣＴ先端技術の積極的導入を行うことで、業務効率化・自動化による付加価値の高い仕事へシフトさせる								8.5 8.8								
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	・外国人労働者の採用活動を行っている（採用実績あり） ・外国人労働者の採用手続きをスムーズに行える配慮が、就業規則にされている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	・外部講師による衛生講和を定期的に実施している ・保安委員会、衛生委員会、各部門での保安・衛生活動を実施している ・ガス検知器を携帯し、ガス中毒事故を防いでいる ・ゴーグルや防じんマスク等保護具を支給し、作業者の安全や健康に配慮している ・保安教育や緊急事態への対応訓練を定期的に行っている ・朝礼にて作業の注意喚起、行動予定の確認を行っている ・危険予知ボードにて、危険予知教育を実施している ・必要な監視機器等への投資を行っている ・外部業者への入構教育を実施している			3					8								
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○		基本	・全社員を対象に、メンタルヘルスチェックを定期的に実施している			3														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	・障がいを持つ社員でも同じ職場で働けるよう、安全管理や安全確保のための整備、職場環境の改善を行っている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用	・年２回の社内健康診断には全員参加するよう指導している ・健康診断結果を上長がチェックし、生活改善が必要な従業員に対して面談を行っている ・人間ドック受診費用の一部負担を行っている			3					8									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用	・職務や役割に応じた研修を都度実施している ・職務に必要な教育（小型ボイラー、玉掛、クレーン等については外部教育）を実施している ・情報や知識を収集するため、セミナーや展示会などへ積極的に参加している ・計画的に職場配置転換を行い、社員のスキルアップを図っている 【予定】社内教育体制の拡充のため、体系化を推進する				4				8	9							
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用	・法改正に対応して規則を改訂している								8.5		10.2 10.3							
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	・各部門より選出された代表者で構成される廃棄物委員会を設置し、廃棄物削減の推進や処理先の適性確認、廃棄物置場の管理（パトロール）を行っている ・廃棄物の種類・量など現状を把握し、台帳管理している ・産業廃棄物のマニュフェスト管理をしている ・PCB廃棄物の計画的な処理を実施している											11.6	12.3 12.4 12.5		14.1			

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
12	環境	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	・省エネ法特定事業者(全社)、第1種指定工場(葛生工場)として、省エネ活動に積極的に取り組んでいる ・熱回収装置開発による環境保全活動に対し、栃木県知事からマロニエECO特別賞を受賞（2014年） ・栃木県知事からマロニエECO事業所優秀賞（中小事業所部門）を受賞（2017年） ・エネルギー管理室を設け、工場のエネルギー使用量の管理、省エネ活動の取り組みをまとめている ・プラント毎に電力使用量を監視、ネットワーク上のPCから消費電力をリアルタイムで確認している ・プラント毎の操業パターンを決め、電力使用の標準化を図っている。（夜間電力の有効活用） ・キルンの熱を回収し、他設備の熱源として利用している ・キルンの排熱で蒸気を作り、重油の加熱に使用している ・各設備の電力データを計測・診断し、削減効果を測定、省エネルギーの為のデマンドレスポンス（DR）の実証に取り組んでいる ・月毎に生産工程のエネルギー原単位を集計し、課題を現場にフィードバックしている						7.3						13				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	・温対法特定事業者（全社）として、温室効果ガス排出量削減に取り組んでいる ・栃木県エコキーパー事業所認定制度にて、３つ星ランク事業所に認定されている（2019～2022年） ・経済産業省へCO_2の年間排出量報告すると共に、削減に向けた課題の抽出を行っている ・自社で発生するCO_2を含む排ガスを、軽質炭酸カルシウムの原料として再利用している 【検討中】自己消費型太陽光発電設備の導入（工場事務所、複合剤プラント） 【検討中】焼成炉から排出されるCO_2の回収						7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	・蛍光灯をLED照明等に順次置き換える、カドミウムを含んだ充電池を使用しない等、有害化学物質を含まない物への転換を進めている ・化学物質のリスクアセスメントを行い、リスクの小さい物質への代替を計画的に行っている ・佐野市危険物保安協会より、功労者表彰を受賞（2019年） ・関東甲信越地区危険物安全協会連合会より、功労者表彰を受賞（2017年）				3.9		6.3					11.6	12.4				
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	・林地開発許可申請、大叶鉱山施業案を行政に提出し、申請に従って鉱物の採掘を実施している ・生物多様性に配慮した鉱山開発を行っている ・工場排水は外部には出しておらず、敷地から出る雨水等の排水、焼成炉の排ガス、運搬車両の適正利用等の管理を行っている						6.6								15		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用	・PH調整設備や水質検査による河川への放流管理を行っている ・プラントや実験室から出てくる懸濁物を含む排水を、沈降分離したのち、構内で循環利用している ・工場内の水道使用量を監視し、随時適正量かを判断している ・林地開発許可申請、大叶鉱山施業案を行政に提出し、申請に従って排水の管理を実施している						6.4 6.6										
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用													12.6					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用	・「とちぎふるさと電気」（水力発電）を一部工場で使用している（2020年採用証明書取得） ・発破警戒用サイレンに、太陽光、風力のハイブリッド発電を利用している 【検討中】自己消費型太陽光発電設備の導入（工場事務所、複合剤プラント）							7.2						13				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用	・鉱山開発計画に基づいた採掘を行っている（過剰な開発は行わない） ・焼成炉の立ち上げ、立ち下げ時に発生する半製品を抑える努力を行っている（製品の再利用、操業技術の向上）												12.2	13	14	15		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用	・焼成ダストを再利用して製品化している ・外部から石灰残渣などを受け入れて、焼成原料として利用している ・消耗品を耐久性や資源循環性の高い物へ切り替えている（電池、手袋等） ・フィルターケーキ（工場排水の絞りカス）の再利用に継続的に取り組んでいる						6.3					11.6	12 12.5	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・不正競争行為を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている																16	

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	・職務発明委員会を設置し、自社技術に関する特許取得、発明者への報酬などを管理している ・知的財産を管理する部門を設置する等、他社特許の侵害防止、質問状や警告書が来た場合には適正に対応する体制がある 【予定】特許など権利に関する社内教育の充実を図る								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本	・個人情報保護規定を策定し、社内体制の整備を行っている																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用	・品質保証室にて、紛争鉱物を扱っていないか調査を行っている																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用	・「パートナーシップ構築宣言」（内閣府）に登録（2020年） ・サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列を超えた新たな連携を目指している					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	・商品へのラベル表示と安全データシートによる顧客への情報提供の徹底を行っている ・製品仕様書を整備し、製品の安全確保を行っている ・製品安全データシートでの情報提供他、梅雨や台風シーズンには顧客へ別途注意喚起を行っている ・ロット番号管理をし、トレーサビリティができる体制がある			3.9											12.4					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している			○	基本	・ISO9001認証取得（2001年） ・JIS R 9001認証取得（2007年） ・品質保証室を設置し、製品管理や顧客からのクレーム情報等を管理している ・顧客からのクレーム情報は他部門と共有し、対策等を水平展開している									9								
30	製品・サービス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○		○	応用	・鉱山開発計画には、緑化など環境への配慮が盛り込まれている ・熱回収による生産を行っている						6						12	13	14	15		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用	・抗ウィルス抗菌抗カビ脱臭剤マスクを開発し、販売推進を行っている ・排ガス中の酸性ガスを無害化し、飛灰の低アルカリ化を実現する製品の開発に対し、「栃木県フロンティア企業」の認証を受けた（2020年）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	○	○	○	基本	・鉱山出口に洗輪場を設けるなど、地域に影響を与えないよう配慮している ・地元自治会の会合に出席するなど、住民との意見交換の機会をつくっている ・クリーン作戦を定期的に実施し、工場周辺の美化活動を行っている ・地元住民からの要望に、迅速に対応できる体制を整えている ・里山に広葉樹を植樹している				4					9		11	12		14	15		17
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	○	○	○	応用	・地元小中学生、高校生に対し、工場見学や職業体験の受け入れを実施している ・佐野市の地域活性活動に対し、寄付金等の提供を行っている ・大学や学会への寄付を行っている ・学校へ理科備品等の教材寄付を行っている ・佐野市に対し吉澤記念美術館ならびに美術品の寄贈、運営費の負担等を行っている				4							11			14	15		17
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	○		○	応用	・地場産業の中心として、地元企業と協力して活動を行っている								8	9		11	12	13				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している		○		基本	・社内規定や各種情報をイントラネット上で管理し、効率的な情報共有を行っている ・必読すべき重要情報の閲覧状況を確認している																16	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている			○	基本	・経営理念が明文化されている ・経営者の考えを、社内報等を利用して定期的に発信している								8	9								17

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
37	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		○		応用	・コンプライアンス委員会を設置している ・イントラネットや掲示板等でコンプライアンス関連の情報を発信し、周知している ・暴力団追放協議会に加盟し、積極的に活動に参加している																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている		○		応用	・都度担当部門を設け対応を行っている																16	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		○		応用	・労務委員会、衛生委員会を中心に、関係部門が連携して適切な対策を講じている ・災害および環境についてリスク評価を行い、リスクの高いものは低減措置を検討し、対策を行っている																16	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている		○		応用	・取引先企業からのCSR調達先監査等、定期的に外部評価を受けている 【予定】活動内容を取り纏めて、CSR報告書を作成する																16	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		○	○	応用	・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握、具体的な活動へ繋げるよう努めている																16	17
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	○	○	○	応用	・危機管理規程を整備し、イントラネットや掲示板等で周知している ・事故や災害時の行動計画を各部門ごとに作成している ・災害発生訓練を定期的に実施している									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている			○	応用									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1																						
2																						
3																						
4																						

【記載留意事項】
・ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する場合は**赤字**で番号を記載しています。
（ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングの整数はＳＤＧｓのゴール（例：７）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。
なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度　など）